議会第4号議案

大村市議会基本条例の一部を改正する条例

上記議案を別紙のとおり大村市議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

平成30年12月20日

議会運営委員会委員長 村 崎 浩 史

大村市議会議長 三 浦 正 司 殿

(提案理由)

本市の二元代表制の一翼を担う市議会の役割の充実・強化を図るため、災害時における対応や専門的知見の積極的な活用について定めるとともに、所要の条文整理を行うため、この改正案を提出するものである。

大村市議会基本条例の一部を改正する条例

大村市議会基本条例（平成20年大村市条例第42号）の一部を次のように改正する。

第18条を第21条とし、第17条を第20条とし、同条の前に次の1条を加える。

（議員報酬）

第19条 議員報酬は、大村市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（昭和31年大村市条例第16号）の定めるところによる。

2 前条第2項の規定は、議員報酬の改正について準用する。

第16条中「決める」を「改正する」に改め、同条を同条第2項とし、同条に第1項として次の1項を加え、同条を第18条とする。

議員定数は、大村市議会議員定数条例（平成14年大村市条例第37号）の定めるところによる。

第15条を第17条とし、第12条から第14条までを2条ずつ繰り下げる。

第11条を第12条とし、同条の次に次の1条を加える。

（専門的知見の活用）

第13条 議会は、市が直面する重要課題に対応するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第100条の2の規定により、大学等研究機関との連携又は専門的な知識及び経験を有する者の積極的な活用を図るものとする。

第10条を第11条とし、第7条から第9条までを1条ずつ繰り下げる。

第6条に次の1項を加え、同条を第7条とする。

2 市民と議会のつどいの実施に関し必要な事項は、議長が別に定める。

第5条を第6条とし、第4条を第5条とし、第3条を第4条とし、第2条の次に次の1条を加える。

（大規模災害時の対応）

第3条 議会は、大規模災害により市内全域に甚大な被害が発生し、又はそのおそれがあるときは、議会機能を維持しつつ、的確かつ迅速な対応を図り、市民生活の安定及び維持に努めなければならない。

2 大規模災害時における議会機能の維持に関し必要な事項は、議長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

大村市議会基本条例（新旧対照表）

改正後	改正前
<p>（大規模災害時の対応） 第3条 議会は、大規模災害により市内全域に甚大な被害が発生し、又はそのおそれがあるときは、議会機能を維持しつつ、的確かつ迅速な対応を図り、市民生活の安定及び維持に努めなければならない。</p> <p>2 大規模災害時における議会機能の維持に関し必要な事項は、議長が別に定める。</p> <p>（議員の活動原則） 第4条 略</p> <p>（会派） 第5条 略</p> <p>（市民との関係） 第6条 略</p> <p>（市民と議会のつどい） 第7条 略 2 市民と議会のつどいの実施に関し必要な事項は、議長が別に定める。</p> <p>（広報委員会） 第8条 略</p> <p>（市長等との関係） 第9条 略</p>	<p>（議員の活動原則） 第3条 略</p> <p>（会派） 第4条 略</p> <p>（市民との関係） 第5条 略</p> <p>（市民と議会のつどい） 第6条 略</p> <p>（広報委員会） 第7条 略</p> <p>（市長等との関係） 第8条 略</p>

改正後	改正前
<p>(議会審議における着眼点) 第10条 略</p> <p>(議員相互間の自由討議等) 第11条 略</p> <p>(市政研究会) 第12条 略</p> <p>(専門的知見の活用) 第13条 議会は、市が直面する重要課題に対応するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第100条の2の規定により、大学等研究機関との連携又は専門的な知識及び経験を有する者の積極的な活用を図るものとする。</p> <p>(委員会の活動) 第14条 略</p> <p>(政務活動費) 第15条 略</p> <p>(議会事務局の体制整備) 第16条 略</p> <p>(議員の政治倫理) 第17条 略</p> <p>(議員定数) 第18条 議員定数は、大村市議会議員定数条例（平成14年大村</p>	<p>(議会審議における着眼点) 第9条 略</p> <p>(議員相互間の自由討議等) 第10条 略</p> <p>(市政研究会) 第11条 略</p> <p>(委員会の活動) 第12条 略</p> <p>(政務活動費) 第13条 略</p> <p>(議会事務局の体制整備) 第14条 略</p> <p>(議員の政治倫理) 第15条 略</p> <p>(議員定数) 第16条</p>

改正後	改正前
<p>市条例第37号) の定めるところによる。</p> <p>2 議会は、議員定数を改正するに当たっては、行財政改革の視点及び他市との比較だけではなく、市政の現状と課題、将来の予測と展望を十分に考慮するとともに、市民の理解を得られるよう努めるものとする。</p> <p>(議員報酬)</p> <p>第19条 議員報酬は、大村市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（昭和31年大村市条例第16号）の定めるところによる。</p> <p>2 前条第2項の規定は、議員報酬の改正について準用する。</p> <p>(最高規範性)</p> <p>第20条 略</p> <p>(見直し手続)</p> <p>第21条 略</p>	<p>議会は、議員定数を決めるに当たっては、行財政改革の視点及び他市との比較だけではなく、市政の現状と課題、将来の予測と展望を十分に考慮するとともに、市民の理解を得られるよう努めるものとする。</p> <p>(最高規範性)</p> <p>第17条 略</p> <p>(見直し手続)</p> <p>第18条 略</p>